

# 令和5年度 福岡県立太宰府特別支援学校グランドデザイン

## 目指す児童生徒像

「校訓：立志 友愛 自立」～光り輝く存在として、社会を生き抜く児童生徒～

- ◆目標や意欲をもって努力する児童生徒【立志】
- ◆自分を愛し、人を愛し、助け合い、支え合う児童生徒【友愛】
- ◆自分でできることや好きなことを見つけ、それらを増やしていく児童生徒【自立】

## 目指す教職員像

「より質の高い実践を求めて協働するチーム太宰府」  
～児童生徒と共に育つ、協働する教職員～

- ◆児童生徒一人一人を大切に、情熱をもって教育に取り組む教職員
- ◆互いを認め合い、支え合い、伝え合う良好な関係性を基盤に協働し、主体的に学び育つ教職員
- ◆保護者や地域の方々から信頼される教職員

## 目指す学校像

「感動と喜び、笑顔と感謝があふれ見える学校」  
～生き生きとした風土を醸成する学校～

- ◆児童生徒一人一人が、人権を尊重され、安全で安心して、生き生きと学ぶ学校
- ◆教職員一人一人が、自身の持ち味を発揮し、更なる成長を目指し、生き生きと働く学校
- ◆保護者や地域の方々の信頼し期待する思いが、生き生きと伝わる学校

## 学校教育目標

一人一人の可能性を最大限に伸ばし、光り輝く存在として社会を生き抜く力を育成する。

## 学校運営方針

「5つの取組の徹底を通して、児童生徒・教職員・学校を大切に、成長を目指す！チーム太宰府」

- I 児童生徒一人一人の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等に応じた指導を徹底する。
- II 安全・安心に学べる教育環境の整備を徹底する。
- III 信頼される指導・支援・取組を徹底する。
- IV 組織力の発揮・向上・継承を徹底する。
- V 専門性の発揮・向上・継承を徹底する。

## 重点目標・具体的方策

### I 児童生徒一人一人に適した教育の充実

○児童生徒の実態に応じた指導の充実と学びの連続性の重視  
・実態把握及び目標設定、指導内容・方法の選定、評価・改善の充実  
・学年間・学部間の連続性を重視した指導の充実  
・「鍛ほめ福岡メソッド」の展開

○カリキュラム・マネジメントの確立  
・教科横断的な視点と系統性を踏まえた年間指導計画の見直し  
・単元配列表の活用  
・教科等の観点別の評価の充実

○ICT活用による資質・能力の育成  
・ICTを効果的に活用した授業の充実  
・ICT活用に係る校内体制の充実

○進路開拓・進路指導・職業教育の充実  
・積極的な学校紹介と資料提供  
・卒業後に必要な力や進路についての共通理解、職員研修の充実  
・系統的な進路学習の充実・職業教育の推進  
・校内実習、現場実習、技能検定の効果的な実施

○施設・設備、教材・教具の充実  
・必要な施設・設備、教材・教具の計画的な整備

### II 安全・安心な教育環境の充実

○人権を尊重した指導の充実  
・人権に配慮した指導の徹底（人権チェックリストの定期的な実施）  
・人権に関する授業研究、研修の充実

○児童生徒指導の充実  
・問題行動に対する迅速かつ組織的な対応及び関係者との情報共有  
・いじめ防止に関する計画的な取組と事案に対する迅速かつ組織的な対応  
・SC・SSW等との連携（いじめ・不登校、学校・家庭生活等）

○安全対策の充実  
・防災教育の充実  
・緊急マニュアルの整備とシミュレーションの効果的な実施  
・安全・安心に配慮した行事計画  
・ヒヤリ・ハット・事故事例の共有・蓄積・継承  
・通学バス会社、関係職員との連携  
・感染症対策の徹底  
・給食の安全な実施（食物アレルギーや摂食指導に対する確認会、給食指導表の作成と活用）  
・医療的ケアの安全な実施（ガイドラインの活用）  
・PTAの防災委員会との連携  
・施設・設備の点検・改善  
・不祥事防止の徹底

### III 信頼される指導・支援・取組の充実

○特別支援教育のセンター的機能の充実  
・太宰府・筑紫野市内の保幼小中相談会の実施  
・地域のニーズに応じた教育相談・巡回相談等の実施  
・福岡地域の特別支援学校ネットワークの充実

○ホームページ・広報活動の充実  
・ホームページの充実  
・SNS活用の検討  
・行事等に関する報道機関への情報提供

○保護者との連携  
・保護者との信頼関係に基づく実践（グランドデザインの周知、日常の連携・授業参観・行事等での意見集約と改善、個別的教育支援計画・指導計画の共通理解）  
・PTA役員・委員との協働

○地域と一体となった学校づくり  
・学校評議員・関係者評価委員との連携  
・交流及び共同学習の内容の充実

○指導・支援・取組に必要な諸条件の整備  
・必要な人的環境、物的環境の整備

### IV 組織力の発揮・向上・継承

○分掌組織の縦・横のラインを意識した業務遂行 ○諸課題に対する組織的な取組の推進 報告・連絡・相談の徹底 調整・連携・共有の徹底 業務記録の徹底  
○働き方改革の推進 協働による業務の効率化 文書や作成書類の合理化・整合性 行事等の精選

### V 専門性の発揮・向上・継承の充実

○人材育成・専門性向上 人材育成基本計画の推進（OJT、OFF-JT、SDの推進） 多面的・効果的な職員研修の実施（ニーズに応じた研修）  
・一人一授業の実施 教師間交流の実施

○外部専門家との連携 専門スタッフ強化事業や地域人材等（ST、OT、PT、大学教授等）の活用 助言内容の共有・蓄積・継承

○校内支援体制の充実 人材を生かした組織的な支援（校内支援コーディネーターと校内人材バンクの活用、自立活動の指導に対する助言、SCとの連携）  
・ケース会議の効果的な運用と内容の共有・蓄積・継承